

平成17年12月22日



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成18年2月期 第3四半期業績の概況 経常利益、純利益共に前年同期比で二桁の増益

ポケットカード株式会社(8519)の平成18年2月期第3四半期の業績は、営業収益267億33百万円(前年同期比6.4%増)、経常利益68億24百万円(同16.3%増)、純利益35億92百万円(同23.7%増)と増収増益となりました。

営業収益は第3四半期としては過去最高となる267億33百万円(前年同期比6.4%増)を達成。主な要因としては、割賦購入あっせん取扱高・収益の二桁増と融資残高の順調な積み上がりが増えられます。

割賦購入あっせんについては、伊藤忠エネクス(株)やコーナン商事(株)での提携カード会員の増加による取扱いの拡大や、データベースマーケティングの活用による緻密な販売促進及びインフォメーションセンターからのアウトバウンドコールなど各種営業推進活動の実施によるカード利用人数の増加により、割賦購入あっせん収益は28億94百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

融資については、新規提携先での会員獲得の好調に伴う新規利用会員の増加や、会員一人ひとりの信用度に応じた機動的な与信枠の設定などが奏功し、融資収益は220億55百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

営業費用については、カード募集の好調に伴う発行費用の増加及びマイカルカードの一斉更新に伴う費用増により、前年同期比微増の198億99百万円(前年同期比3.4%増)となっておりますが、業務全般におけるローコスト化は着実に進んでおり、営業収益の伸び率に比べ営業費用の増加率は抑制されております。

以上の結果、営業利益は前年同期比16.1%増の68億34百万円、経常利益は同16.3%増の68億24百万円、純利益は同23.7%増の35億92百万円の二桁増益となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	第3四半期純利益
平成18年2月期 第3四半期	26,733	6,824	3,592
前年同期比	+6.4%	+16.3%	+23.7%
通期業績予想	35,300	8,000	4,300

第3四半期のトピックス

「P-one(ピーワン)カード」募集開始

2005年10月より、カード業界トップクラスの特典を付与した個人向けクレジットカード「P-oneカード」の会員募集を開始いたしました。「P-oneカード」では、以前からカード会員にご好評いただいております「常時1%割引特典」に加え、毎月7日のショッピング利用は通常の10倍のポイントが付与される「10倍ポイントデー」を導入し、従来以上に高いプレミアムを付加したオンリーワン・カードとなっております。また、「P-oneカード」は更生会社株式会社マイカルとの提携解消に伴い切替えが必要となる「マイカルカード」の後継カードとして位置付けており、今後随時切替え更新を行なってまいります。

口座振替サービス「Pay easy(ペイジー)」の全国展開をスタート

全国各地の金融機関と提携し、2005年10月より、口座振替サービス「Pay-easy」の全国展開を開始いたしました。本サービスの導入により、提携金融機関のキャッシュカードを専用端末に通すだけで口座登録手続きが完了し、カード入会時のお客様の利便性が大きく向上します。当社は以前から、郵政公社、三井住友銀行、北海道銀行等の各金融機関と提携し同サービスを試験的に運用していましたが、提携金融機関の拡大に伴い、この度全国の支店・営業所での本格的運用を開始いたしました。今後は、現在の提携金融機関数213機関を順次拡大し、さらなるお客様の利便性向上に努めてまいります。

以上